

# 公益財団法人 リバーフロント研究所

## I 法人の概要（平成 30 年 4 月 1 日現在）

- 1 所在地 東京都中央区新川一丁目 17 番 24 号
- 2 設立年月日 昭和 62 年 9 月 1 日
- 3 代表者 代表理事 小野 武彦
- 4 基本財産 542,300 千円
- 5 北九州市の出捐金 10,000 千円（出捐の割合 1.8%）
- 6 役員員数

	人 数			
	合 計	うち本市からの派遣	うち本市退職者	うちその他
役 員	5 人	0 人	0 人	5 人
常 勤	1 人	0 人	0 人	1 人
非常勤	4 人	0 人	0 人	4 人
職 員	30 人	0 人	0 人	30 人

## II 平成 29 年度事業実績

公益財団法人リバーフロント研究所は、自律して活力ある持続可能な社会の再構築に資するため、気候変動、資源の逼迫、自然環境の悪化など、世界的にも地域的にも抜本的対応が必要となっている水や水辺に関する諸課題について、常に将来の社会のニーズを先取りし、多様な分野の学識者と連携しつつ、未解明である、学際的である、又は先端的である技術、施策・制度等に関する調査研究、技術開発（以下、「研究等」という）に取り組み、研究等の成果を今後の社会を支える施策、制度等の制定、改定の技術的基盤とすることを目指して活動する。

平成 29 年度は、今日の課題の解決に貢献することを念頭において、河川、海岸等の水辺、流域に関し、環境・生態系の基本的課題の解明、健全な水循環系の保全・再生、河川整備とまちづくりが一体となった安全・安心で活力ある水辺の形成・活用、自然豊かな水辺の保全・再生、関係者の意識共有・合意形成などの諸課題に関する研究等を重点的に行った。

これらの研究等の成果については、国内外の技術者等との情報共有、活用促進を図るため、研究等の成果概要を、インターネットを通じて公表するとともに、研究発表会、セミナー等により情報発信を行った。また、多自然サポートセンター、ARRN/JRRN の活動等により、多自然川づくりや海岸環境等に係る研究成果、技術情報等の情報共有、発信に努めた。

### 1. 環境・生態系の基本的課題に関する研究等

河川、海岸等の水辺に係わる環境に関し、環境・生態系の基本的課題に関する研究等を行った。

### 2. 持続可能で活力ある安全・安心な流域社会の形成に向けた研究等

気候変動等の地球規模の課題に対処し、持続可能で活力ある安全・安心な流域社会の形成を目指した研究等を行った。

### 3. 意識共有、合意形成の円滑化に向けた研究等

河川、海岸等の水辺に係る現状や諸課題に関し、関係者が認識を共有し円滑な合意形成を図るための手法に関する研究等を行った。

### 4. 研究成果、技術の普及

#### 4.1 多様な手法による情報提供

研究所のホームページを活用して、「リバーフロント研究所報告」を公表した。

#### 4.2 多自然川づくりサポートセンターにおける諸活動

全国で展開される多自然川づくりを技術面から支援するために設置した多自然川づくりサポートセンターにおいて、延べ9件の相談等に対し現地調査、助言等を行うとともに、4件の研修会等への講師派遣を行った。

#### 4.3 刊行物の出版等

機関誌「RIVER FRONT」を発行した。

### 5. 国際貢献の推進

#### 5.1 研究成果等を活用した諸外国への展開、技術普及等

#### 5.2 アジア及び日本河川・流域再生ネットワーク（ARRN/JRRN）の活動

#### 5.3 諸外国との技術交流

### Ⅲ 平成 29 年度決算

#### 1 貸借対照表 (総括表)

平成 30 年 3 月 31 日現在 (単位: 円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
<b>I 資産の部</b>			
1 流動資産			
現金預金	3,450,665	3,612,580	▲ 161,915
完成業務未収入金	334,771,361	398,894,600	▲ 64,123,239
貯蔵品	115,328	90,903	24,425
未収金	4,411,154	3,024,999	1,386,155
前払費用	6,978,372	6,343,509	634,863
流動資産合計	349,726,880	411,966,591	▲ 62,239,711
2 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	542,300,000	242,300,000	30,000,000
定期貯蓄金	0	300,000,000	▲ 30,000,000
基本財産合計	542,300,000	542,300,000	0
(2) 特定資産			
研究開発積立資産	957,700,000	957,700,000	0
退職給付引当資産	40,000,000	37,725,500	2,274,500
特定資産合計	997,700,000	995,425,500	2,274,500
(3) その他固定資産			
建物	5,376,755	6,552,258	▲ 1,175,503
什器備品	768,530	1,175,088	▲ 406,558
リース資産	887,814	2,663,442	▲ 1,775,628
ソフトウェア	0	121,670	▲ 121,670
電話加入権	145,600	145,600	0
敷金	45,514,794	45,514,794	0
その他固定資産合計	52,693,493	56,172,852	▲ 3,479,359
固定資産合計	1,592,693,493	1,593,898,352	▲ 1,204,859
資産合計	1,942,420,373	2,005,864,943	▲ 63,444,570
<b>II 負債の部</b>			
1 流動負債			
業務未払金	65,588,400	110,911,464	▲ 45,323,064
短期借入金	168,981,271	144,362,569	24,618,702
短期リース債務	903,489	1,788,036	▲ 884,547
未払金	5,659,380	11,505,187	▲ 5,845,807
預り金	4,433,490	1,966,054	2,467,436
賞与引当金	11,574,000	10,593,000	981,000
未払消費税等	6,187,900	3,350,200	2,837,700
流動負債合計	263,327,930	284,476,510	▲ 21,148,580
2 固定負債			
長期リース債務	0	903,489	▲ 903,489
退職給付引当金	44,528,500	37,725,500	6,803,000
固定負債合計	44,528,500	38,628,989	5,899,511
負債合計	307,856,430	323,105,499	▲ 15,249,069
<b>III 正味財産の部</b>			
1 指定正味財産	0	0	0
2 一般正味財産	1,634,563,943	1,682,759,444	▲ 48,195,501
(うち基本財産への充当額)	(542,300,000)	(542,300,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(957,700,000)	(957,700,000)	(0)
正味財産合計	1,634,563,943	1,682,759,444	▲ 48,195,501
負債及び正味財産合計	1,942,420,373	2,005,864,943	▲ 63,444,570

## 2 正味財産増減計算書（総括表）

自 平成 29 年 4 月 1 日

至 平成 30 年 3 月 31 日（単位：円）

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益			
基本財産受取利息	5,866,868	7,985,723	▲ 2,118,855
② 研究開発積立資産運用益			
研究開発積立資産受取利息	8,500,461	3,841,792	4,658,669
③ 事業収益			
調査研究事業収益	429,508,961	439,243,400	▲ 9,734,439
④ 賞与引当金戻入額			
賞与引当金戻入額	10,593,000	8,168,000	2,425,000
⑤ 雑収益			
雑収益	813,287	309,069	504,218
経常収益計	455,282,577	459,547,984	▲ 4,265,407
(2) 経常費用			
① 調査研究事業費			
調査研究費	354,070,021	372,680,392	▲ 18,610,371
研究開発・技術普及費	95,679,646	104,851,053	▲ 9,171,407
② 管理費			
管理費	53,728,411	48,839,027	4,889,384
経常費用計	503,478,078	526,370,472	▲ 22,892,394
当期経常増減額	▲ 48,195,501	▲ 66,822,488	18,626,987
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除去損	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	▲ 48,195,501	▲ 66,822,488	18,626,987
一般正味財産期首残高	1,682,759,444	1,749,581,932	▲ 66,822,488
一般正味財産期末残高	1,634,563,943	1,682,759,444	▲ 48,195,501
<b>II 指定正味財産増減の部</b>			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
<b>III 正味財産期末残高</b>	<b>1,634,563,943</b>	<b>1,682,759,444</b>	<b>▲ 48,195,501</b>

#### IV 平成 30 年度事業計画

公益財団法人リバーフロント研究所は、自律して活力ある持続可能な社会の再構築に資するため、気候変動、資源の逼迫、自然環境の悪化など世界的にも地域的にも抜本的対応が必要となっている水や水辺に関する諸課題について、常に将来の社会のニーズを先取りし、多様な分野の学識者と連携しつつ、未解明である、学際的である、又は先端的である技術、施策・制度等に関する調査研究、技術開発（以下、「研究等」という）に取り組み、研究等の成果を今後の社会を支える施策、制度等の制定、改定の技術的基盤とすることを旨として活動する。

平成 30 年度は、今日の課題の解決に貢献することを念頭において、河川、海岸等の水辺、流域に関し、環境・生態系の基本的課題の解明、健全な水循環系の保全・再生、河川整備とまちづくりが一体となった安全・安心で活力ある水辺の形成・活用、自然豊かな水辺の保全・再生、関係者の意識共有・合意形成などの諸課題に取り組むこととする。

研究等の成果は、施策・制度等を通じて我が国の社会基盤の充実、国民生活の向上に資するとともに、水や水辺に関する様々な団体等活動や諸外国の抱える水に関する課題の解決に寄与するべく幅広い活動を目指す。

#### V 平成 30 年度予算

##### 1 収支予算書

自 平成 30 年 4 月 1 日

至 平成 31 年 3 月 31 日（単位：千円）

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益			
基本財産受取利息	12,831	5,331	7,500
② 研究開発積立資産運用益			
研究開発積立資産受取利息	15,400	7,869	7,531
③ 事業収益			
調査研究事業収益	480,000	520,000	▲ 40,000
④ 補助金等			
賞与引当金戻入額	11,574	10,593	981
⑤ 雑収益			
雑収益	200	200	0
経常収益計	520,005	543,993	▲ 23,988
(2) 経常費用			
① 調査研究事業費			
調査研究費	385,734	362,691	23,043
研究開発・技術普及費	80,970	127,564	▲ 46,594
② 管理費			
管理費	53,515	53,943	▲ 428
経常費用計	520,219	544,197	▲ 23,978
当期経常増減額	▲ 214	▲ 204	▲ 10
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	▲ 214	▲ 204	▲ 10

## VI 役員名簿

平成30年7月1日現在

役職名	氏名	備考
代表理事	小野武彦	常勤
理事	菅和利	非常勤
〃	見城美枝子	〃
監事	増岡洋一	〃
〃	緑川光	〃